



勇者エリーは
長い旅の末
魔王との戦いに
終止符を打とうと
していた

勇者と魔王の 最終決戦の行方は...!?



とうとう
倒したわ!

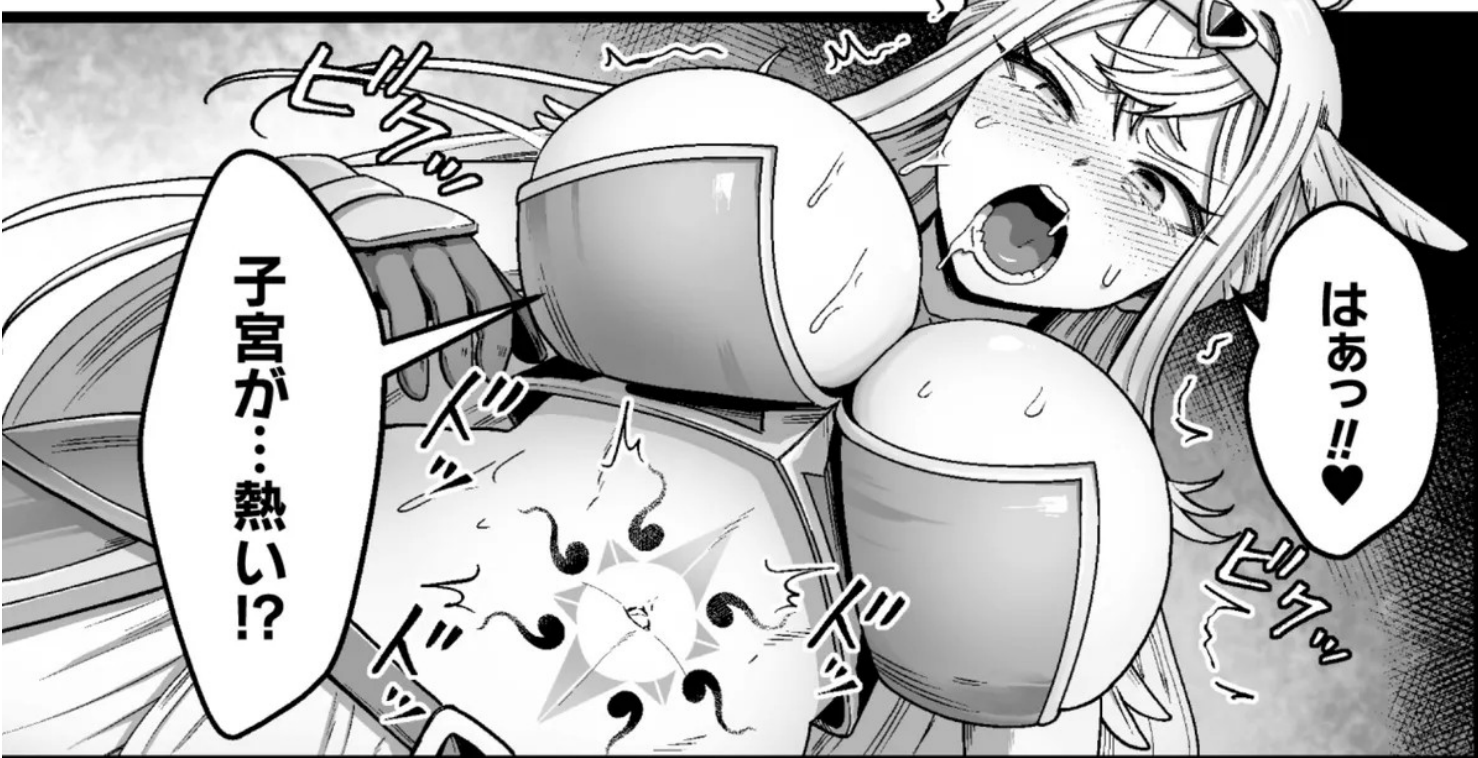
はあ

勝った!

はあ
はあ



決戦の 後に



子宮が…熱い!?

はあっ!! ♡



フフ…
残念だったな
勇者よ



この邪悪な力…
まさか魔王!?

倒した
はずなのに…
なぜ私の胎内に!?



あの程度で死ぬような魔王ではないわ

…っ！
しどろもやっ



貴様の子宮に

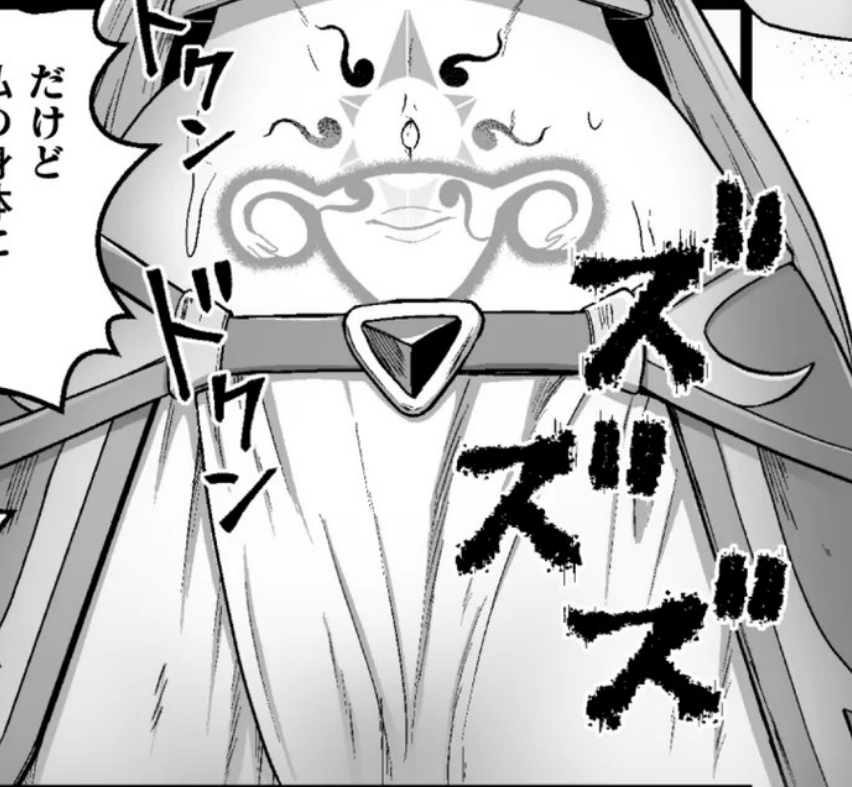
我が肉体の一部を埋め込んだ…



だけど私の身体に入り込んだって無駄よ！

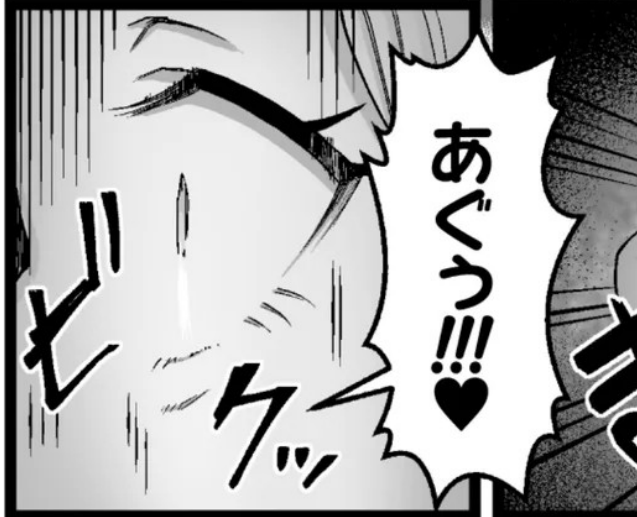
この身に宿る女神の加護で

すぐにあんななんて追い出して…



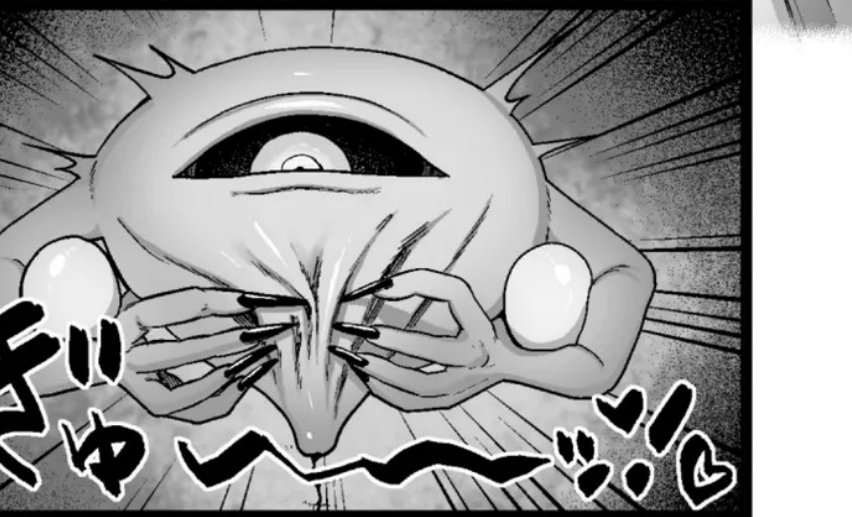
ドクン
ドクン
ドクン

ズ
ズ
ズ
ズ

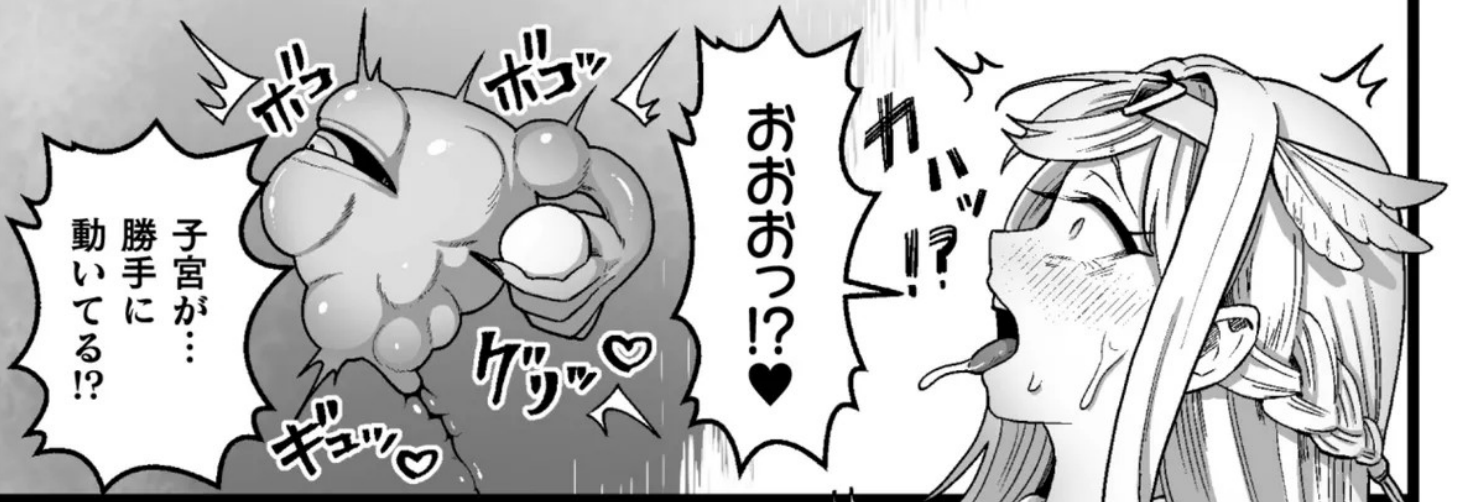


あぐう!!!♡

ゼ
クッ



きゅん
きゅん
きゅん



子宮が…
勝手に
動いてる!?

おおおっ!?!♡

カハッ!?!



貴様は我が軍を
随分と減らして
くれたな…

だが
その強靱な身体は
母体として
非常に優秀だ



産んでもらうぞ
貴様が今まで
殺した分の魔物を

そして
その身体を
我が物に
させてもらう



えっ!?!

ドクン!

ケケケケ!!



これは
我が特製の
媚毒だ…

貴様の愛液は
魔物が交尾の際に
分泌する体液と
同じように
調整してある…

むわあ

なに!?

あれが今宵
貴様を孕ませる
者達だ

おちち…



存分に
狂うがいい



さあ媚毒は
まだまだあるぞ



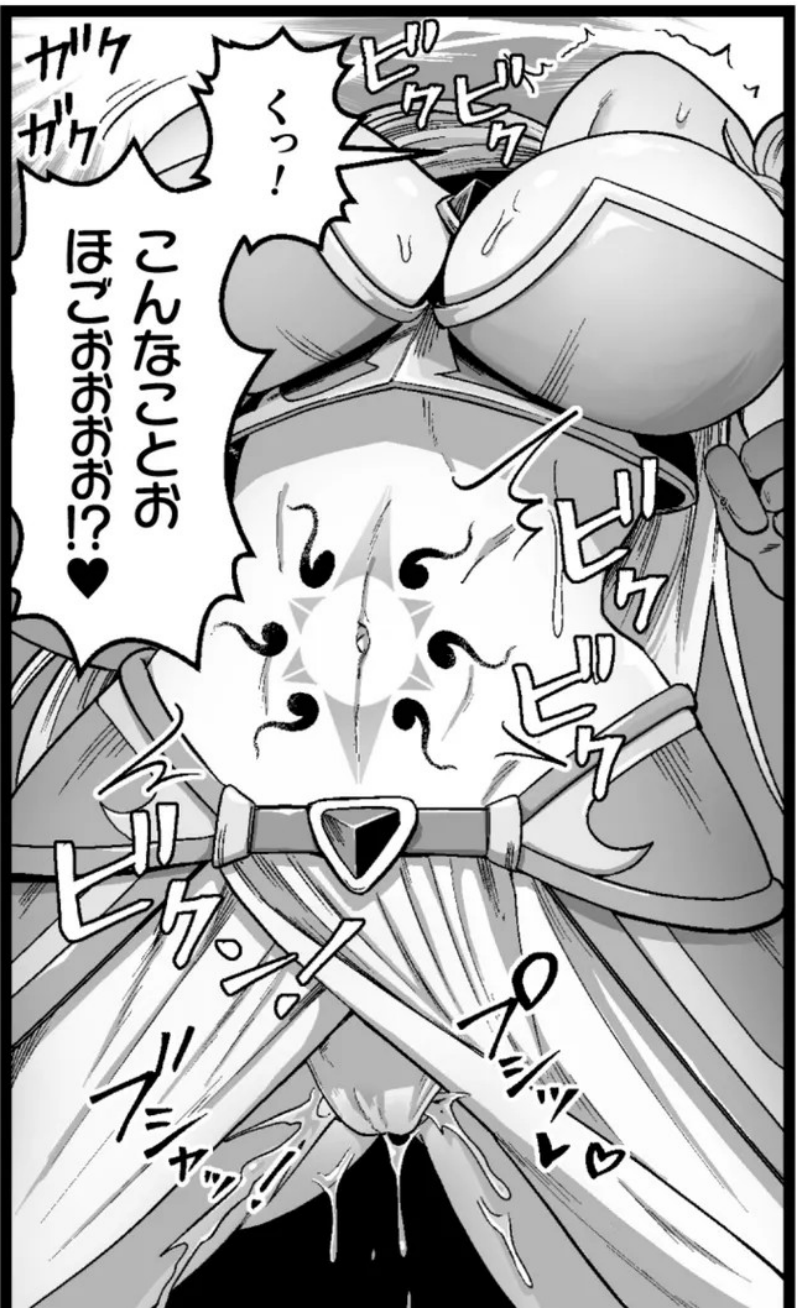
さあ腰を振れ
獣が求愛
するが如く...

下品で...
淫らで...

お...おお!!♡



だ...だめ...



こんなことお
ほごおおおお!!♡

か…身体が
勝手に動く!! ♡

ぐぬぬ…
こんな事してられ
ないのに… ♡

なんで子宮が
うずくの!?! ♡

この声に…
逆らえない!!

ムムムム

ムムムム

トロロ



ほら腰が
止まっているぞ
もっと腰を振れ

ふぎい!! ♡
な…あああ
なんて卑怯な!!



我が貴様の子宮に
魔物への欲情を
刷り込んでおるのだ

どうしようもなく
疼くであろう



そんな事は
絶対に起こらな…

おおおお!!!♡



こんにゃ
こんにゃ
もの!!♡

ふんぐおお
おおおお!?

ビクン♡

はーはー

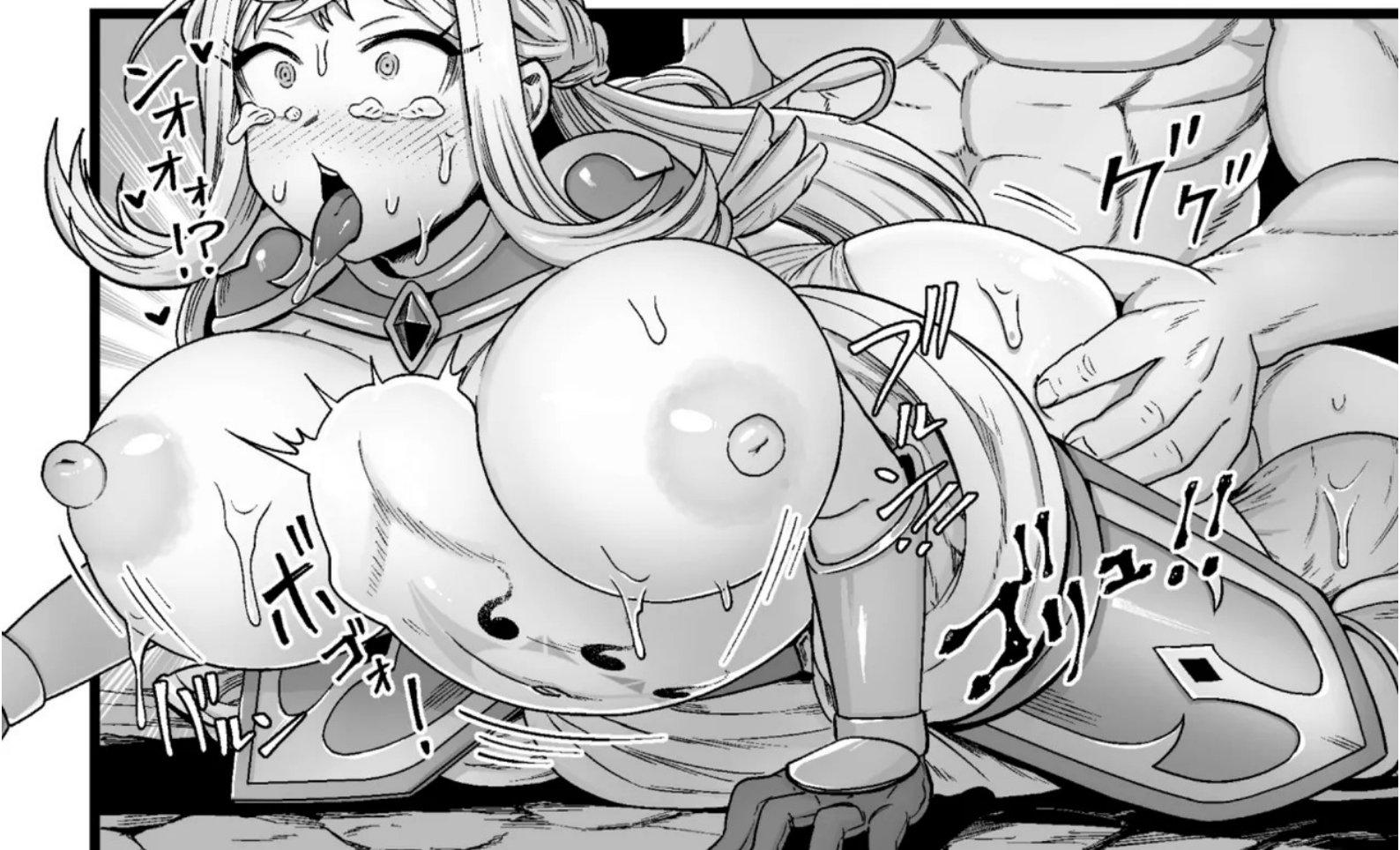
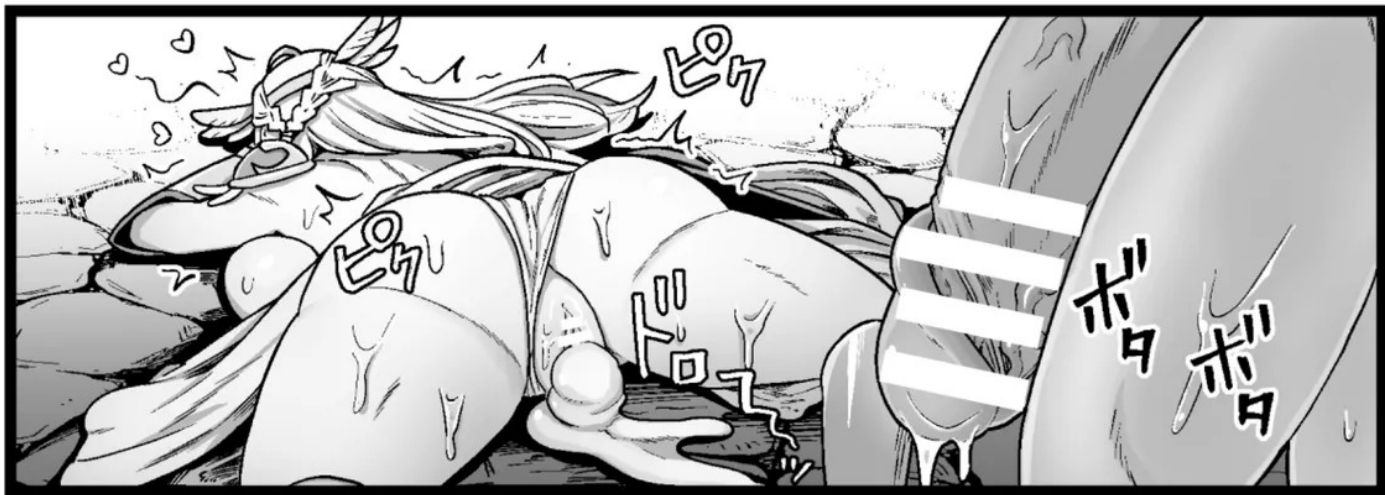


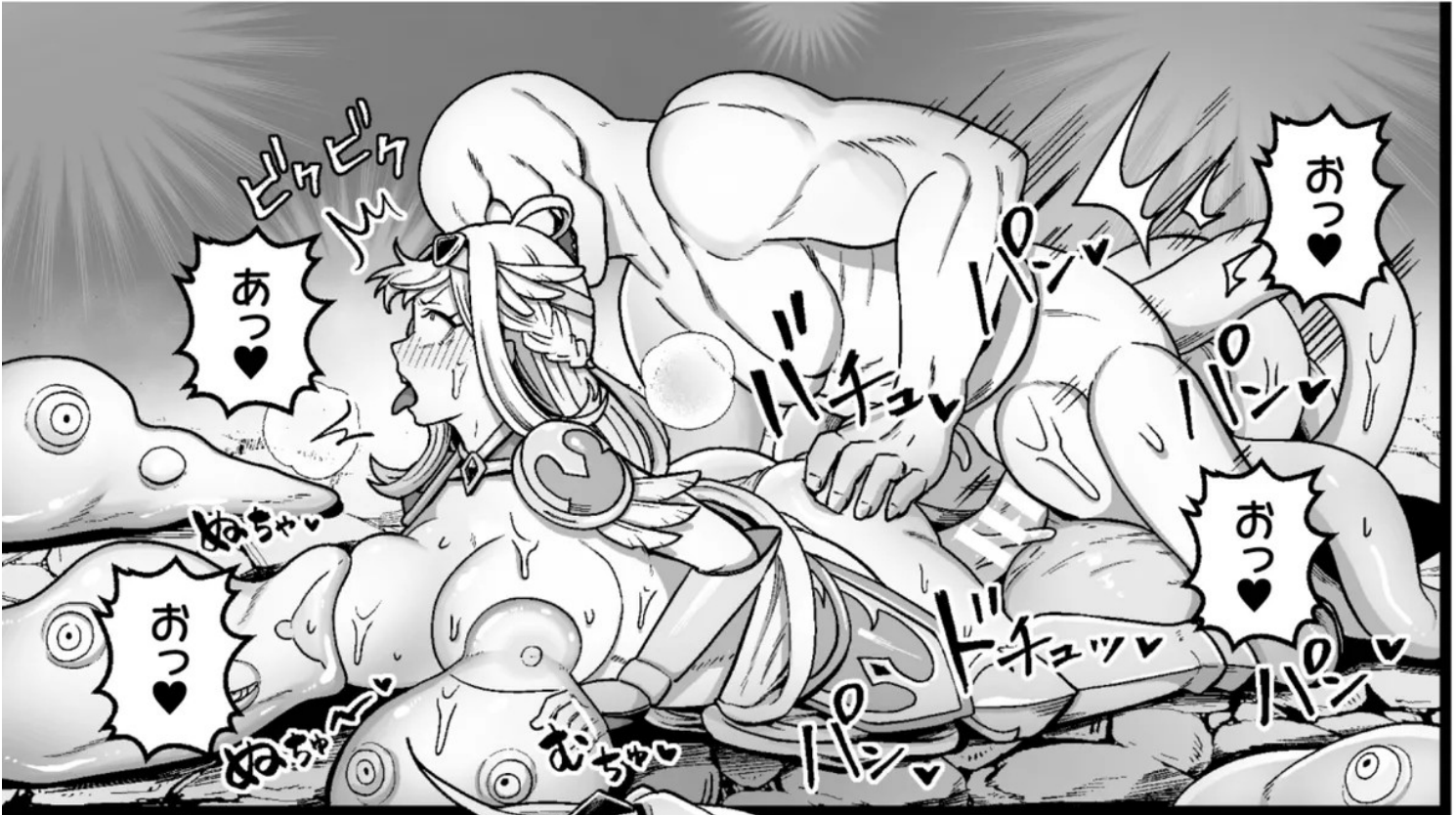
どうだ勇者よ…
これが魔物の快楽

人間なぞとは
比べものにならない
魔の魅惑だ

ぬちゅ

ぬちゅ





ほれ媚毒も
もつとくれてやる



さて
勇者…

さらなる快楽を
得たくはないか？



おお
勇者よ…

これが
気持ちがいいとは
情けない

ほのお
きもちいい!!



女神の加護を
解け

加護が
貴様の懐妊を
邪魔している



解けば何倍もの
快楽が
もたらされ

貴様は魔物を
孕めるのだ…

お前は
よく戦った
さあ…自分の
心に従え



あ…ああ…
やだ…やだあ♥

でも…
気持ち
いい…の

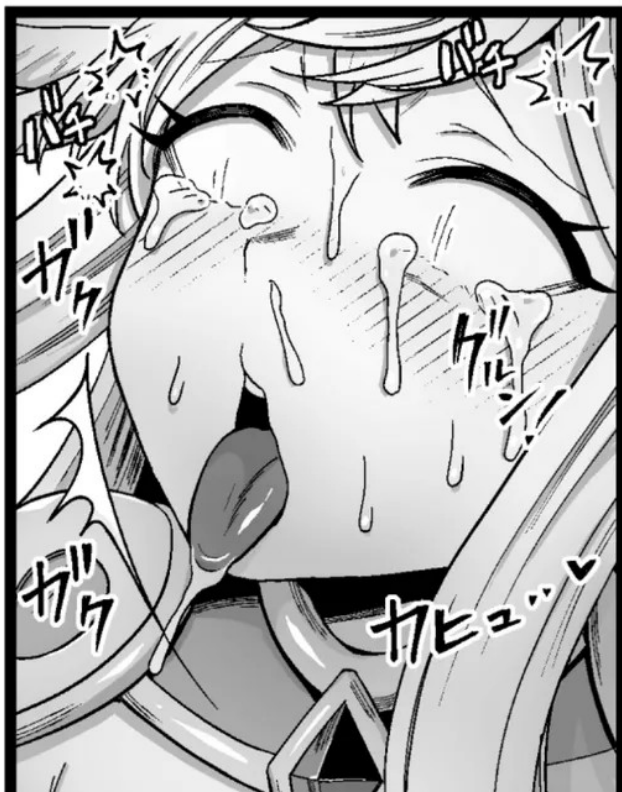
ちゃ

ちゃ

ああ…でも
こんなに
愛おしく♥

だめ♥
私は…

あ…あらがえない…♥







貴様はそこから
見ておれ

貴様の身体を使って
存分に魔王軍を
再興してくれる…



おほおおお!!!♡

はぁ♡

はぁ♡

我が胎^{はら}の中で
暴れ回っておるわ!



んっ♡

